

令和7年度第2回 瑞穂町図書館協議会会議録

- 1 日 時 令和7年12月23日（火） 18:00～19:00
- 2 場 所 瑞穂町図書館2階 セミナールーム
- 3 出席者 会長 関谷 忠 副会長 高島 朝子
委員 石坂 隆文、笹井 鎮彦、吉良 明美、関谷 初世、西澤 麻里
町 友野図書館長、西村図書係長、池和田主任
- 4 欠席者 吉田 周平
- 5 議 題 (1) 第8回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告
(2) 瑞穂町図書館協議会視察研修報告について
(3) 瑞穂町図書館の利用状況について
(4) その他
- 6 傍聴者 なし
- 7 配布資料 次第、資料1～3、第8回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール表彰式次第

8 会議内容

開会

会長挨拶

議題（1）第8回瑞穂町図書館を使った調べる学習コンクール結果報告

（資料1－1、1－2）

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 令和7年9月1日から10月1日の期間で作品を募集しました。小学生の部288作品、中学生の部6作品、高校生の部6作品、一般の部2作品、合計302作品の応募がありました。一次審査で小学生の部の作品を10作品選定しました。中学生、高校生、一般の部は応募作品数が10作品を下回ったため、一次審査を実施していません。二次審査で小学生・中学生・高校生・一般の部の合計24作品を審査し、各部門の入賞者が決定しました。審査結果については水色の表彰式次第をご覧ください。

上位入賞作品のうち、小学生の部3作品、中学生の部2作品を全国コンクールに推薦しました。

表彰式は11月19日（水曜日）に郷土資料館けやき館で行われました。審査結果や表彰式の様子は広報12月号にも掲載されています。

関谷会長 このことについてご意見がありましたらお願いします。

吉良委員 各賞がうまく各校にばらけていますね。
事務局 モチベーションのため努力賞としています。
関谷会長 中学生は個人の作品ですか？
事務局 小学生は授業で取り組んでいます、中学生は授業では難しいので個人で取り組んだ作品だけです。
笹井委員 高校生の部の作品は全体に残念な感想です。

議題（２）瑞穂町図書館協議会視察研修報告について

（資料２）

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。
事務局 令和７年１１月２７日（木曜日）に新潟県の小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。に視察研修に行きました。参加者は関谷会長、高島副会長、笹井委員、吉良委員、関谷委員の５名です。
国土交通省のコンパクトシティ形成支援補助を活用し、令和６年９月にオープンした図書館です。
運営形態は直営で、カフェ部分のみ外部事業者が運営しています。蔵書数は開架閉架合わせて約１５万冊です。
特徴として、図書館を核とした複合施設である（子どもが遊べる屋内広場や音楽スタジオ等）、計画段階から開館後まで市民ワークショップで住民参画を続けている、広い空間と可動式書架によりチャレンジショップなどの多様な使い方が実現している、会話、蓋付飲物、館内撮影すべて可能、食事はエリアを限定していることです。
参加された委員の皆さま一人ずつ、感想などお聞かせ願えればと思います。
関谷会長 病院の跡地で広くて山々がよく見え環境が良いところで驚きました。これからの図書館先進的で勉強になりました。
高島副会長 図書館とタイアップ行事が現在進行形で、什器が移動できスペースが取れるのでよく考えられていて、感動しました。
笹井委員 ブースごとに分かれていて誰もがわかりやすいデザインになっていませんでした。名称も難しいようで職員もわからないと聞きました。職員にわからなければ利用者にもわからないです。名称は多世代に分かりやすくすると良かったと思いました。
吉良委員 小千谷市と瑞穂町は人口もほぼ同じなので大きい施設で羨ましかったです。普段の利用が少ないのが勿体ないと思いました。
関谷委員 施設が素敵でした。学生利用が活性化されていて良いと思いました。

テーマ別は職員もわかりづらいとの意見を聞きました。

事務局 顔認証システムにはビックリしました。これから先の認証で不都合が生じないかと思いました。

議題（３）瑞穂町図書館の利用状況について

（資料３）

関谷会長 事務局からの説明をお願いします。

事務局 図書館、地域図書室の来館者数と貸出等利用者数の令和７年度と令和６年度の比較です。まず来館者数ですが、殿ヶ谷図書室以外は前年同時期より来館者が多くなっています。特に７月、８月は令和６年度に比べ大きく伸びています。夏休み期間中の来館者が多かったことがわかります。６月と９月が大きく減っていますが、６月は瑞穂中学校の体育祭が雨天延期で平日開催だったこと、９月は図書館システムの入替えて９日間休館した影響によるものと分析しています。

貸出等利用者数も来館者数とほぼ同じ推移をしています。元狭山、長岡、武蔵野は増え、瑞穂町と殿ヶ谷は減っています。瑞穂町の減少分が大きく、町全体としても減っています。原因を分析し、本を読む、借りる行動につなげるための方策を研究したいと考えています。

次に８月以降の実施事業についてご説明します。

９月２２日から３０日までの９日間図書館と地域図書室を休館し、図書館システムの更新を行いました。令和元年に行った前回の更新から６年が経過し、使用しているパソコンが経年劣化したこと、また搭載されている Windows のバージョンのサポート期限を迎えることから、ハード機器の入替えを行いました。費用を安価に抑えるため、ソフトの図書館システムは同じものを継続使用します。継続とは言え、新たな機能も追加しました。

また、８月に図書館ファンクラブやボランティア団体との共催事業を、１０月に恒例の無料配布を実施しました。１２月にはボランティア団体の協力を得てクリスマス会を実施しました。このほか、資料はありませんが、小学校の見学受入が４回、中学校の職場体験受入が２回、ボランティアセンターみずほの「夏の体験ボランティア」や障害者の就労支援実習、７団体の視察受入を実施しました。

関谷会長 このことについてご意見がありましたらお願いします。

笹井委員 未所蔵リクエストは広域も含ませますか？

事務局 西多摩広域はできませんが、武蔵村山市はできます。

高島副会長 今日午後5時過ぎに来館したら利用者に高齢の方も多くいらっしゃいましたがいつも多いのですか？

事務局 時期もありますが、テストも終わり冬休み前でのんびりしていたのかかもしれません。

関谷会長 読書環境の充実にシフトしてもいいのではないですか。読書会のような会も図書館でやるといいなと思いました。

夏休み明け、調べる学習コンクール、青少年の主張、人権、給食ポスターなど学校では苦勞しているのでは？

石坂委員 4年生で教育課程に位置づけています。

議題（4）その他

事務局

- ・多摩地域公立図書館大会
- ・ボランティアセンターみずほ開催「読み聞かせボランティア講座」で参加者が作った紙芝居が「第25回手づくり紙芝居コンクール」で入賞しました。2作品を1月のおはなしの会で発表予定です。

閉会

高島副会長